

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科
科目名称 [英語名称]	総合的な学習の時間の指導法 [Teaching methods of integrated learning time]				実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○
科目コード	421170	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	4年次
教員氏名	遠藤 晃				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP3(2) DP3(3)	
授業概要	<p>平成29,30年に改訂された新学習指導要領では「カリキュラム・マネジメント」や「社会に開かれた教育課程」など、学ぶ意味を児童・生徒が実感できるような学習内容の再構築と学び方として「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」に取り組むことが学校・教師に求められている。平成10年の学習指導要領改訂で創設された総合的な学習の時間は、自らが立てた課題の解決に向けて、教科横断的な知識やスキルを駆使し、他者と対話しながら主体的に学ぶことを目的として、新・学習指導要領には「各学校の教育目標や教育課程編成の際に総合的な学習の時間の目標との関連を図るものとする」と明示された。しかし、総合的な学習の時間の趣旨は学校現場で必ずしも理解されているとは言えず、席替えや発表会の練習などに使われるなどの事例も散見されるのが現状である。</p> <p>本講義では、総合的な学習の時間の意義と指導法について、学習者自らが体感しながら学ぶことで理論と実践的な指導法を習得し、新学習指導要領との関連付けを図る。</p>						
関連する科目	小学校の教科に関する科目ならびに教科教育法						
授業の進め方と方法	<p>「総合的な学習の時間」を再現し体感するために、自らが立てた課題の解決に向けて、教科横断的な知識やスキルを駆使し、他者と対話しながら主体的に学ぶプロセスを重視した授業構成とする。</p> <p>ゴールを「楽しい模擬授業」(定期試験)に設定し、毎回の講義で各自が蓄積した知識・スキルを再構築し、グループで話し合いながら、少しずつ指導方法を確立していく。</p>						
授業計画	<p>授業計画</p> <p>第1回:「総合的な学習の時間」:創設の背景と意義、鍵を握る「探究」</p> <p>第2回:「総合的な学習の時間」から読み解く新・学習指導要領</p> <p>第3回:「総合的な学習の時間」とESD及びSDGs</p> <p>第4回:主体的・対話的で深い学び:理論と学力</p> <p>第5回:主体的・対話的で深い学び:思考ツール</p> <p>第6回:「総合的な学習の時間」の指導計画(1):テーマ設定(地域から世界へ)</p> <p>第7回:「総合的な学習の時間」の指導計画(2):教科横断的、ホールスクールアプローチ</p> <p>第8回:「総合的な学習の時間」の指導計画(3):年間指導計画の作成、ESDカレンダー</p> <p>第9回:「総合的な学習の時間」の指導計画(4):単元計画の作成</p> <p>第10回:「総合的な学習の時間」の指導法:子どもの学びに火をつける教師の働きかけ</p> <p>第11回:「総合的な学習の時間」の指導法:プロセスを重視する指導</p> <p>第12回:「総合的な学習の時間」の指導法:すべての児童が安心して対話できる環境を作る</p> <p>第13回:「総合的な学習の時間」の指導法:学びの成果を発表する場をつくる</p> <p>第14回:「総合的な学習の時間」の評価方法</p> <p>第15回:模擬授業に向けた準備(グループ毎)</p> <p>定期試験:各グループによる「楽しい模擬授業」:導入部分「子どもの学びに火をつける」(10分程度)</p> <p>課題レポート:「総合的な学習の時間について」…講義を終えて考えたことを書く</p>						
授業の到達目標	<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1)総合的な学習の時間が創設された背景とその意義を理解する。</p> <p>(2)総合的な学習の時間について、目標を知り留意点を理解する。</p> <p>(3)総合的な学習の時間の年間指導計画及び単元計画の作成について理解する。</p> <p>(4)総合的な学習の時間の学習指導の手法を理解し、指導能力を身に付ける。</p> <p>(5)総合的な学習の時間の評価方法を理解する。</p>						
授業時間外の学修	<p>・到達段階の認識:毎回の講義終了後に、自分が考えたこと等をまとめ、文章として表現するレポートを課す(1時間程度)。</p> <p>・講義の資料準備:終了時に提示される課題について、次回の講義までに準備をしてくる(1時間程度)。</p> <p>* 課題については担当教員に随時相談すること。</p>						
課題に対するフィードバック	課題については、随時解説する。	評価方法			<ul style="list-style-type: none"> ・講義毎のミニレポート(30%) ・指導計画・単元計画書(10%) ・模擬授業(10%) ・課題レポート(50%) 		
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編(平成29年6月版、文部科学省) ・「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」(小学校編、平成22年11月文部科学省)教育出版 						
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・手島利夫著「学校発・ESDの学び」教育出版 						
備考							